

## ひまわり証券、FX取引でも自動売買が可能に ～証券会社で唯一、FXと株価指数先物の自動売買に対応～ システムトレード用高機能ツール『ひまわりトレードシグナル』新バージョン発売

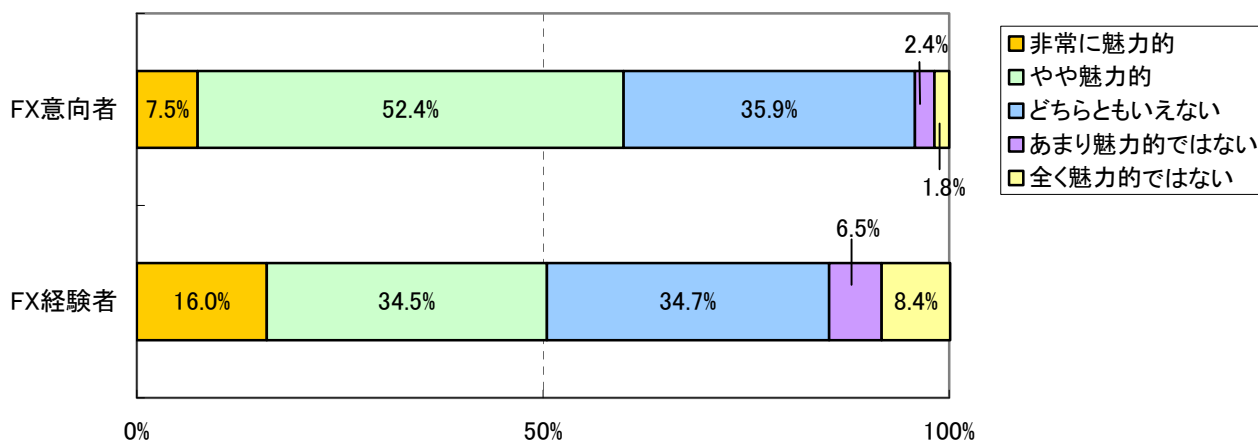
ひまわり証券（東京都港区、代表取締役 山地一郎、ひまわりホールディングス株式会社〔ジャスダック 8738〕の100%子会社）は、2009年6月1日より、FX取引の自動売買に対応したシステムトレード用高機能ツール『ひまわりトレードシグナル FXライセンス』の発売を開始します。当ツールは月額14,700円にてご利用いただけますが、申込日から30日間は無料でご利用いただける「トライアル版」もご用意しております。

『ひまわりトレードシグナル』は、お客様が選択した、または、作成した売買ルール通りに、売買発注を自動的に繰り返すシステムトレード用の取引ツールです。当ツールには、既に500種類を超える売買ルールが内蔵されていますが、プロが作成した当ツール用の売買ルールを購入し、自動運用することも可能です。また、自動発注の他に、内蔵された約170種類のテクニカル指標でリアルタイムのチャート分析を行ったり、自身が設定した売買タイミングにメール通知を受信する設定が出来たりと、チャートを基に売買する個人投資家にとって、利便性の高い取引ツールとしてご利用いただけます。

当ツールは既に、2008年1月より、日経225先物・mini、TOPIX先物取引に対応しており、2009年4月末時点で、体験版も含め、2,850人のお客様にご利用いただいております。当ツールのユーザーは、非ユーザーと比べ、2008年9月に起こったリーマンショックの影響を受けず、安定的な運用を行っており、システム的な売買の有効性がうかがえます。（※2枚目の折れ線グラフを参照）

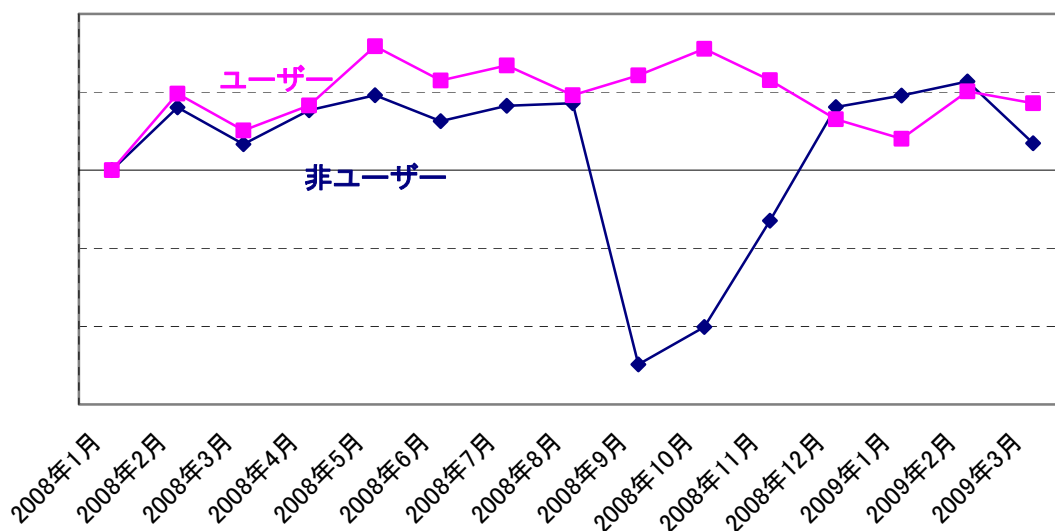
また、2008年10月に当社が行ったインターネットによるアンケート調査で、自動発注機能付システムトレード用ツールについて、800名に質問をしたところ、「非常に魅力的」・「やや魅力的」と回答したFX経験者が50.4%、FX意向者が59.5%という高い関心があることがわかり、『ひまわりトレードシグナル』のFX対応を決定しました。

### ※システムトレードツールについてのアンケート回答結果（2008年10月当社調べ）



【参照】

『ひまわりトレードシグナル』ユーザーと非ユーザーの1人あたり平均月間取引損益の推移



(※2008年1月の損益を0として比較算出)

【ひまわり tradesignal における重要事項】

- 「ひまわり tradesignal」は、システムトレード※の手法を構築・検証することや、ご自身が設定した自動売買を行うことに利用できるツールです。
- 「ひまわり tradesignal」は、上記に示したツールとしての利用提供を目的としており、金融商品の投資勧誘を目的としたものではなく、又将来の運用利益を保証するものではありません。
- 「ひまわり tradesignal」は、ひまわり証券が正確性・確実性を期すよう努めておりますが、完全性を保証するものではありません。(また、予告なしに情報・内容を変更することがありますので、ご注意ください。)
- 「ひまわり tradesignal」の利用によって生じた損害（パソコンやネットワークに生じた損害を含み、損害の種類を問わない）やその修理費用等に関して、ひまわり証券は、一切責任を負いませんのでご了承くださいませようお願い申し上げます。

ひまわり証券株式会社

関東財務局長（金商）第150号（金融商品取引業）

加入協会：社団法人金融先物取引業協会・日本証券業協会

【お問い合わせ先】 ひまわり証券株式会社 広報チーム／中川・鈴木

TEL:03-5400-3456 FAX:03-5400-3624 E-mail:info-pr@sec.himawari-group.co.jp

東京都港区海岸 1-11-1 ニューピア竹芝ノースタワー 6F